

令和7年度「食品ロス削減推進表彰」にて「審査委員会委員長賞」を受賞 国際イベントにおけるフードロスを地域福祉につなげる取り組みが評価

ホンダモビリティランド株式会社(本社：三重県鈴鹿市、代表取締役社長：斎藤毅)が運営する鈴鹿サーキットは、消費者庁と環境省が主催する令和7年度「食品ロス削減推進表彰」において「審査委員会委員長賞」を受賞しました。

鈴鹿サーキットで開催されるF1日本グランプリでは、世界中から集まるチームが、各々のスタッフやゲストに飲食を提供するホスピタリティエリアを設けるため、大量の食材を鈴鹿サーキットに持ち込んでおり、その結果、余剰食材によるフードロスが課題となっていました。この課題に対し、当社では2022年から余った食材を三重県周辺のフードバンクへ寄贈する取り組みを開始。2025年には回収体制を一本化し、冷凍車や倉庫を活用することで効率化を図り、過去最多の7,837kgを回収。鈴鹿・亀山・四日市・松阪の14団体へ再分配され、子ども食堂などで活用されました。

今回の「審査委員会委員長賞」受賞は、国際イベントで発生するフードロスを地域福祉へとつなげる、持続可能なモデルとして評価されたもので、当社では、モータースポーツイベントのカーボンニュートラルに向けた取り組みを今後もさらに加速させ、モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドを活かした地球環境や社会課題への対応に取り組んでまいります。



F1日本グランプリにおける余剰食材回収の様子

■ 令和7年度食品ロス削減推進表彰について

消費者等に対し広く普及し、食品ロス削減・食品寄附促進に効果的かつ波及効果が期待できる優秀な取組を実施した方を表彰することにより、食品ロス削減・食品寄附促進の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、表彰を行います。

主催：消費者庁、環境省

後援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省

消費者庁ホームページ：

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/food_loss_award/2025/prizewinner/index.html